援部会

ービス見学バスツアー」

福祉サービス見学バスツアー」の内容と同協議会で行っていることをご紹介します。

見学5 コスモス

山のような量のアルミ缶、ペットボトル、それを運ぶリフトや大きな機械の音。案内スタッフの可愛い声が聞こえなくて残念。次回は拡声器を準備しなくては!施設長の渡辺さんの「障害があってもたくましく働く」という言葉は印象的でした。平均工賃3万5千円は全国でもトップクラス。すごい!!

参加者の声

- 「施設の見学やお仕事をされている人の話を聞く場など、なかなかないので、また参加したいです。」
- 「スタッフの方も利用者さんも楽しくいきいきと、ときに真剣な眼で仕事をされていました。子どもや地域の人とつながっている施設がとても魅力的でした。」
- 「企画・運営し、同行していた皆さんの熱意は、とても心に響きました。広く皆様に知っていただき、世の中に役立つ人づくりが広がると良いなあと想います。」
- 「今回のツアーに参加させていただいて、想像以上に充実した時間が過ごせました。」

ツアーに参加していただいた皆さん、施設で対応して下さったスタッフの皆さん、ご協力本当にありがとうございました。

一宮市障害者自立支援協議会で行うこと

「一宮市障害者自立支援協議会」は障害のある方が、地域で安心して生活できるようにするため、福祉・保健・医療・教育・労働などの各分野におけるサービスや機能を総合的に調整、推進する場です。

その1 処遇困難ケースなどについての具体的な処遇方針の策定や関係機関へのサービス提供の要請を行います

その2 一宮市障害者基本計画及び一宮市障害福祉計画の進捗状況の確認を行います

その3 サービス提供後の評価と新たなサービスメニューや施策を検討し、関係機関に対して要望提言などを行います

<事務局：一宮市役所福祉課 福祉グループ　電話 28−9134　FAX 73−9124>

一宮市障害者自立支援協議会生活支

特集 「第1回福祉サー

今回の特集は、昨年の10月7日に行われた「福祉の仕事を知るための第1回

このバスツアーは、福祉サービスを利用している方々や福祉の現場で働くみなさんから、その魅力を伝えてもらい、参加者に「自分も何かやってみたい」と思えるきっかけになる場を作りたいとの想いで企画したものです。今回の参加者は21名で、生活支援部会のスタッフが6名、協議会の野田会長と福祉課職員1名の総勢29名のツアーとなりました。

見学1 第2きそがわ作業所

“広くて明るい”が第1印象の施設です。町田施設長さんが、障害福祉にかかわることの意味を語ってくれました。

見学2 福祉ホームきそがわ、ケアホームきそがわ

この広さで13人はかなりゆったり。支援スタッフの川上さんがパワーポイントを駆使してわかりやすく説明。参加者からも「川上さんの仕事に対する思いがとてもよく伝わり、自分も少しでも力になれたらと感じました」との声が。

見学3 療育サポートプラザ チャイブ

空腹をこらえて12時から見学。説明者より「みなさんに声をかけてみて」と言われたけど、「名前がわからない」と苦情。次回は名札をつけます。
ゴメンナサイ。

見学4 昼食はおやまのカフェで

一度に29名のランチ対応で、カフェスタッフの顔が引きつっていたように感じたのは気のせいでしょうか。でもカレーは好評でしたよ。今度は日替わりランチを食べてみたいですね。